

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【公表番号】特表 2007-515105 (P2007-515105A)
 【公表日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-021
 【出願番号】特願 2006-540240 (P2006-540240)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

G 0 3 B 15/00 H

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 1 日 (2007.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カメラ (100) であって、
 作動手段 (130) の作動に応じて、画像の撮影と記憶手段 (10) への記憶を開始させるための前記作動手段 (130) と、
 前記記憶手段 (10) に記憶された画像を表示するための表示手段 (110) とを含み、
 前記作動手段 (130) の作動とは独立して、実質的に連続して第 1 の複数画像を撮影して前記記憶手段 (10) へ記憶するとともに、さらに、
 前記作動手段 (130) の作動に応じて、第 2 の複数画像を撮影して記憶することを特徴とするカメラ。

【請求項 2】

前記記憶手段 (10) は、
 第 1 の記憶手段 (101) と、第 2 の記憶手段 (102) とを含み、
 前記作動手段 (130) の作動に応じて撮影された前記画像は、前記第 1 の記憶手段 (101) に記憶され、かつ、
 前記第 1 および第 2 の複数画像は、前記第 2 の記憶手段に記憶されることを特徴とする請求項 1 に記載のカメラ。

【請求項 3】

カメラであって、
 作動手段 (130) の作動に応じて、画像の撮影と第 1 の記憶手段 (101) への記憶を開始させるための前記作動手段と、
 前記第 1 の記憶手段 (110) に記憶された画像を表示するための表示手段 (110) とを含み、
 前記作動手段 (130) の作動とは独立して、実質的に連続して第 1 の複数画像を撮影して第 2 の記憶手段 (102) へ記憶するとともに、さらに、

前記作動手段（１３０）の作動に応じて第２の複数画像を撮影して前記第２の記憶手段（１０２）へ記憶する

ことを特徴とするカメラ。

【請求項４】

前記第１の記憶手段（１０１）は、不揮発性の記憶手段であることを特徴とする請求項２または３に記載のカメラ。

【請求項５】

前記第２の記憶手段は、一時的な記憶手段であることを特徴とする請求項２乃至４の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項６】

前記一時的な記憶手段は、バッファ記憶装置であることを特徴とする請求項５に記載のカメラ。

【請求項７】

前記第１の記憶手段（１０１）に記憶させるための１つまたは部分集合の画像を前記第２の記憶手段（１０２）からユーザに選択させるための選択手段をさらに含むことを特徴とする請求項２乃至６の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項８】

前記表示手段（１１０）に前記第２の記憶手段（１０２）に記憶されている画像の表示を開始するための手段をさらに含むことを特徴とする請求項２乃至７の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項９】

前記表示手段（１１０）に表示させた画像をユーザに選択させ、かつ、前記第１の記憶手段（１０１）に前記選択された画像を記憶する手段をさらに含むことを特徴とする請求項８に記載のカメラ。

【請求項１０】

前記第２の記憶手段（１０２）に、単位時間当たりに記憶する画像の数をユーザに設定させるための手段をさらに含むことを特徴とする請求項２乃至９の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項１１】

前記第２の複数画像における画像の総数をユーザに設定させるための手段をさらに含むことを特徴とする請求項１乃至１０の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項１２】

画像の解像度、シャッター、ハードウェア制限およびメモリ制限の１以上の条件に従って前記第２の複数画像における画像の総数を自動的に調整する手段をさらに含むことを特徴とする請求項１乃至１１の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項１３】

前記第１および第２の複数画像のうち少なくとも一方において、記憶される画像の解像度をユーザに設定させるための手段をさらに含むことを特徴とする請求項１乃至１２の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項１４】

前記第２の複数画像における画像の数は、１から５００、より好ましくは２から２５０または最も好ましくは２から５０の間で設定されることを特徴とする請求項１乃至１３の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項１５】

前記カメラ（１００）のフラッシュは、画像の撮影に同調して作動することを特徴とする請求項１乃至１４の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項１６】

前記第２の記憶手段（１０２）において、実時間情報が各画像に伴って記憶されることを特徴とする請求項１乃至１５の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項１７】

前記カメラ（１００）は、移動通信装置に一体化されていることを特徴とする請求項１乃至１６の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項１８】

移動通信装置との接続を確立するための手段をさらに含むことを特徴とする請求項１乃至１７の何れか１項に記載のカメラ。

【請求項１９】

請求項１乃至１８の何れか１項に記載のカメラ（１００）を含む移動電話機。

【請求項２０】

カメラ（１００）によって画像を撮影するための方法であって、
作動手段（１３０）の作動と独立して、実質的に連続して第１の複数画像（１４０）を撮影して記憶するステップと、
前記作動手段（１３０）の作動に応じて、画像（１５０）を撮影して記憶手段（１０、１０１）に記憶するステップと、
前記作動手段（１３０）の作動に応じて、第２の複数画像（１６０）を撮影して記憶するステップと、
作動手段（１３０）の作動に応じて、撮影され、かつ、前記記憶手段（１０、１０１）に記憶された前記画像（１５０）を表示手段（１１０）に表示させるステップと、
ユーザの要求により、前記第１および第２の複数画像のうち少なくとも一方からの画像を前記表示手段（１１０）に表示させるステップと、
前記記憶手段（１０、１０１）に記憶されている第１または第２の複数画像から画像をユーザに選択させるためのステップと、
前記記憶手段（１０、１０１）に記憶されている第１または第２の複数画像からユーザが画像を選択した場合に、前記記憶手段（１０、１０１）に前記選択された画像を記憶するステップと
含むことを特徴とする方法。